

# 坂川再生事業の効果について

平成15年度夏から坂川再生事業が本格的に始まりました。陣屋(じんや)口(ぐち)橋・上下流の川の中から着工されたわけですが、その経過を大まかにふり返ってみます。

いきものがすみやすい川に



陣屋(じんや)口(ぐち)橋南側/整備前(平成15年1月)

すってんてんのコンクリート護岸でした。これじゃいきものはすみませんね。



同じ場所/整備後(平成16年5月)

水際に土や石をちょこっと。これだけでもいきものはだいぶすみやすいんです。ハイ。(石は不要コンクリートの再利用)



レンガ橋東側の工所用搬入路(平成15年7月)

川の中での作業時の搬入路を...



同じ場所の親水用スロープ(平成16年5月)

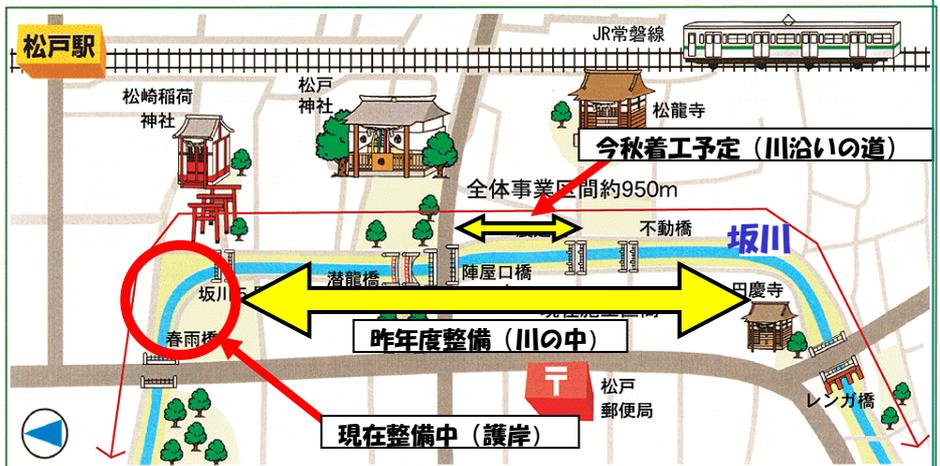
...有効活用して改築。最近きれいになってきた坂川に間近にふれることができますヨ。

## 坂川再生事業とは？

坂川再生事業は、小山～赤塚まで(約950m)の間において、坂川の環境を回復・再生するプロジェクト。具体的には、最近だいぶきれいになってきた水や川沿いの歴史的な雰囲気を生かしながらもっと

- ①いきものがすみやすく
- ②人も水辺に近づくことができ
- ③川沿いを気持ちよく  
ゆったり歩けるようにする

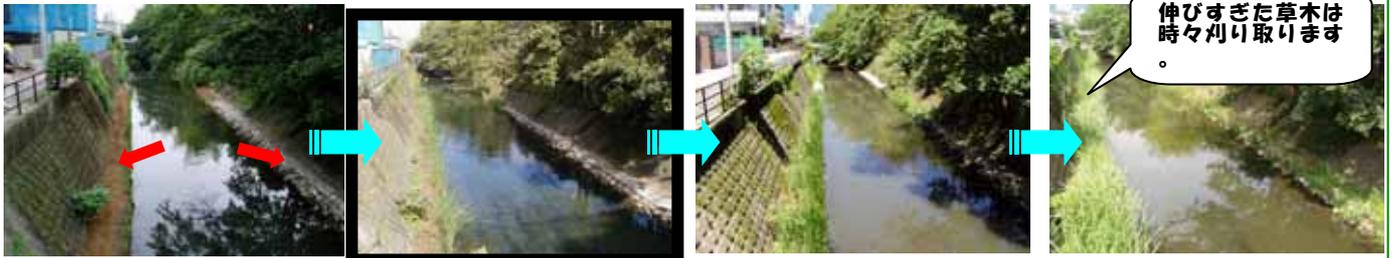
この3つが目的です。この事業は10年かかると見込まれています。川の中に引き続き、まもなく陣屋口橋南側から川沿いの道の整備も始まります。



そして住民参加型プロジェクトとして、これからも県・市・住民3者の連携プレーで、坂川を育てていきます。

## だんだん自然がもどってきた！

ここで、川の中の変化をもう少しよく見てみましょう。水際に緑がもどってくるようすがわかります。先のとおり、ところどころ、水際に近づけるようになってきています。さあ、心静かに水面(みなも)を見つめ、耳をすましてみましょう。



平成15年7月(整備直後)  
ホントに自然が戻ってくるか実はちょっと心配でした(→印の水際線の変化に注目)

平成15年10月  
お、水際に少しずつ緑が...

平成16年5月  
元氣な新緑。これなら大丈夫どう...

平成16年7月(1年後)  
おお！見よ、マコモがこんなにたくましく

伸びすぎた草木は時々刈り取ります。

## さらにもっとよく調べてみると...



マコモやヨシ群落がカギ



エビや魚もたくさん

川辺で休もうっと♪



カモは川岸がお気に入り

いいんだわここ...めくめく。



彼の定ポジションみたい

### ～坂川からのお願い～

川の魚や鳥にはエサを与えないでください。生態系のバランスが崩れ、川本来の自然環境を乱してしまう危険性があります。彼らは自分自身で生きていく力を持っていますので、その自然な姿をそっと見守ってくださいね。

## 坂川とまちづくり市民の会

平成16年7月17日、女性センターゆうまつとで、坂川とまちづくり市民の会(略称坂川の会)の総会と今年度の第1回・坂川とまちづくり連絡会(坂川の会、県、市の3者による意見交換や活動の場)が開かれました。この日は、坂川再生事業のほか、みんなでおそうじ坂川(春・夏・秋・冬)や、助成が決まった河川整備基金助成金の運用などについて議論が交わされました。そして今夏から年4回のおそうじを行っていくこと、助成金を活用しながらその活動の輪を少しずつ広げていくことで合意しました。

事務所にて上記のような内容のパンフレットを作成し、地元や関係組織に配布し、坂川再生事業のPRと協力を求めています。年に4回の掃除イベントにも地元の方々が集まり、徐々に浸透してきています。

